

スポーツ観戦、お気に入りの競技は何ですか？

みなさん、スポーツ観戦はお好きでしょうか。人それぞれに「好きなチームや選手を応援したい」「素晴らしいプレーを見たい」「その競技が好き」「他の人と盛り上がって一体感を味わうのが好き」「友人や知人との会話のネタになる」「感動できる」など、いろいろな楽しみ方があります。

国内外で開催されるスポーツをみると、野球、サッカー、バスケットボール、バレーボール、大相撲、テニス、陸上競技、フィギュアスケートなど選手の活躍ぶりが注目されています。

スポーツ観戦について、「家計調査」（総務省統計局）、「旅行・観光消費動向調査」（国土交通省観光庁）、「スポーツの実施状況等に関する世論調査」（文部科学省スポーツ庁）などから最近の状況をみていきましょう。

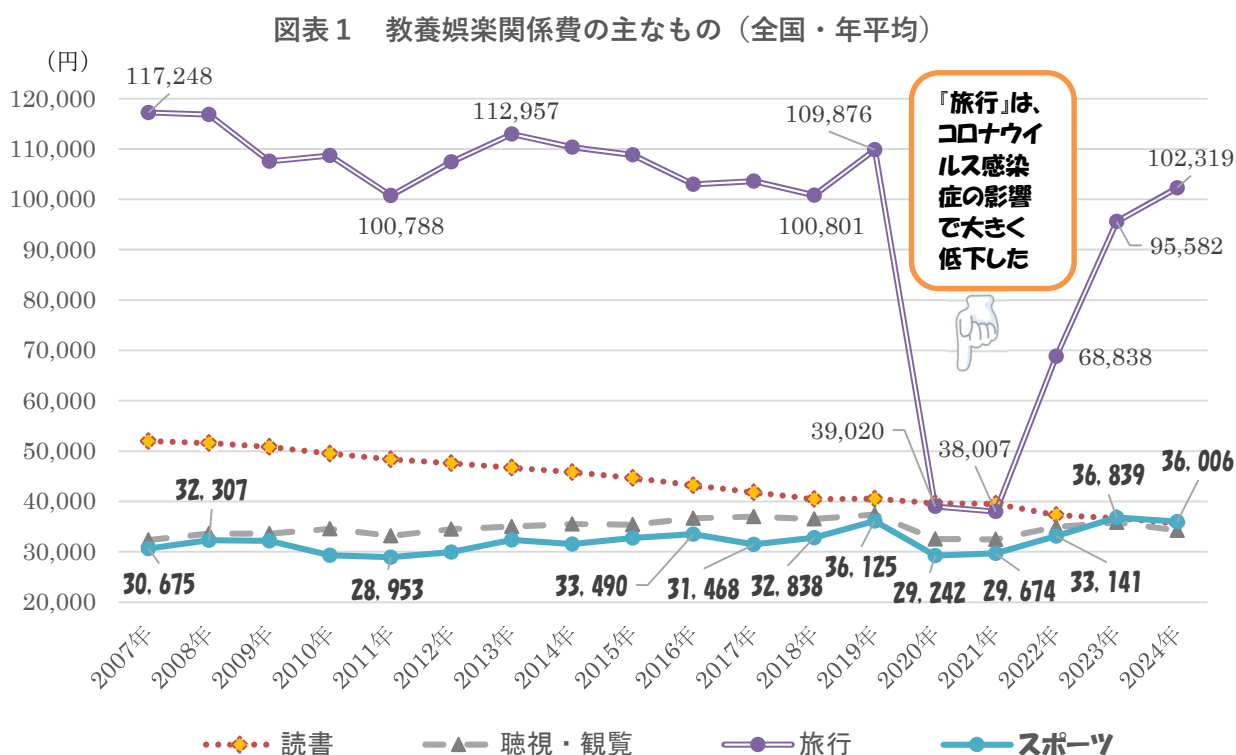
1 スポーツ観戦費用の推移

「家計調査」における教養娯楽関係費（全国・年平均）について、2007年から2024年までの推移をみてみます。

「スポーツ」にかかる費用は2017年まで3万円前後を推移していましたが、2018年から2年連続で上昇し36,125円に達したのち、2020年に新型コロナウイルス感染症の影響により29,242円まで低下しました。2021年以降は3年連続で上昇し36,839円となりましたが、2024年には36,006円とわずかに低下となっています。

なお、参考までに「旅行」にかかる費用は2019年まで10万円以上を推移していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年は39,020円、2021年は38,007円と2年連続で低下しました。その後2022年以降は3年連続で上昇し、2024年には102,319円となっています。

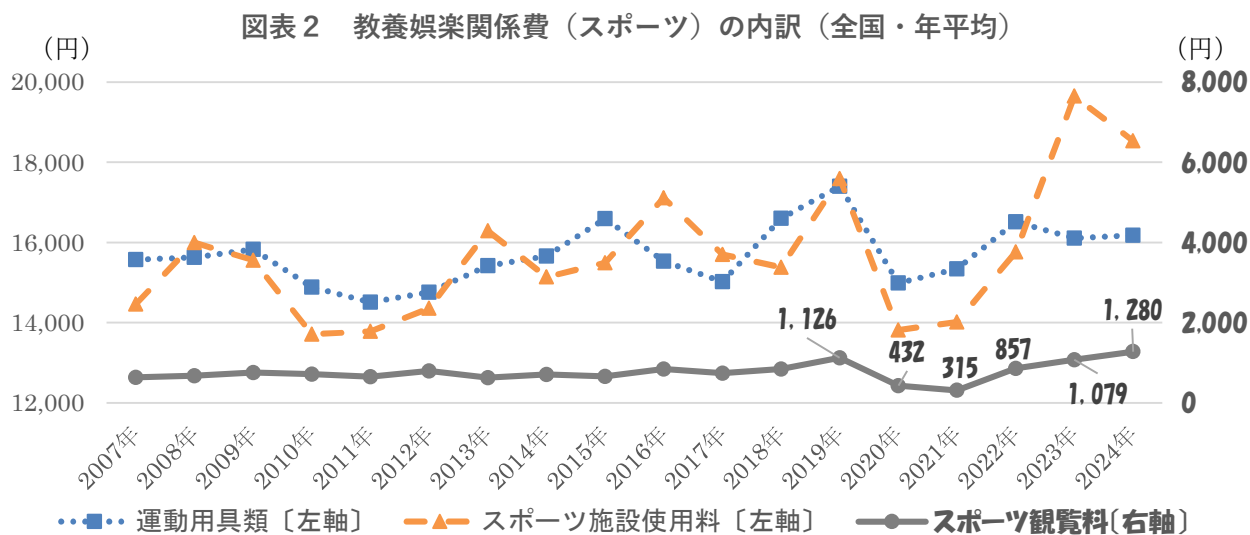
（図表1）



資料：総務省統計局「家計調査」 二人以上の世帯

続いて、教養娯楽関係費の「スポーツ」について、その内訳「運動用具」「スポーツ施設使用料」「スポーツ観覧料」をみてみます。

スポーツ観戦の費用に該当する「スポーツ観覧料」は、2019年に1,126円でしたが、2020年から2年連続で低下し315円となった後、2022年以降は3年連続で上昇しています。（図表2）



（注） 運動用具類 …… ゴルフ用具、スポーツウェア、他の運動用具

スポーツ設備使用料 …… ゴルフプレー料金、スポーツクラブ使用料、他のスポーツ施設使用料

資料：総務省統計局「家計調査」 二人以上の世帯

次に、日本国内居住者の旅行・観光における消費実態等の調査を目的とする「旅行・観光消費動向調査」で、旅行目的別の集計結果のなかから「スポーツ観戦」を目的とする旅行の単価（旅行1回当たりの支出金額）の内訳をみてみます。

「国内・宿泊旅行」「国内・日帰り旅行」は、2018年から2024年まで概ね横ばいの動きとなっています。それに対して、「海外旅行」は、2023年の19,381円に対して2024年の52,393円と2.7倍に上昇しています。（図表3）



（注1）「海外旅行」は、2020年から2022年まで新型コロナウイルス感染症の影響により統計がありません。

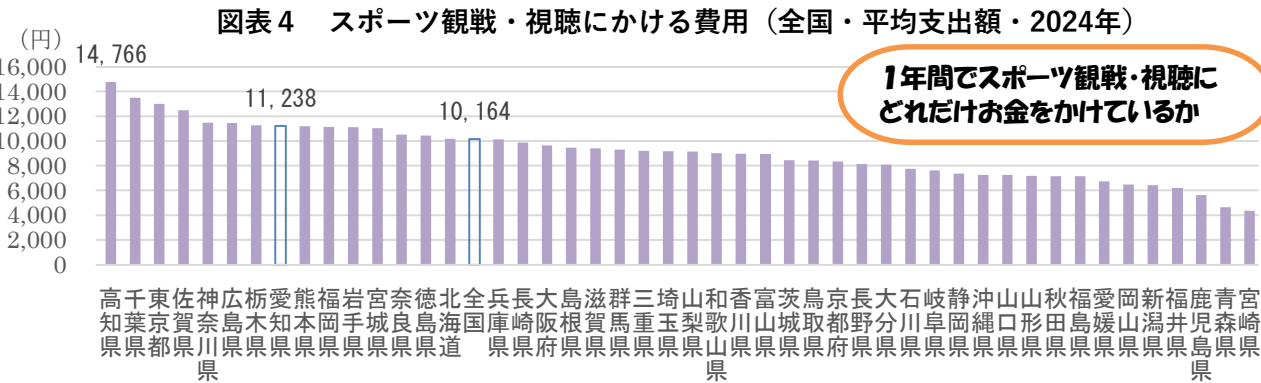
（注2）新型コロナウイルス感染症の感染症法における位置付けは、2023年5月8日以降「2類相当」から「5類」に移行しました。

資料：国土交通省観光庁「旅行・観光消費動向調査」

2 スポーツ観戦・視聴にかかる費用

「スポーツの実施状況等に関する世論調査」におけるスポーツ観戦の費用について、全国と都道府県を比較してみましょう。

2024 年の年間の平均支出額に基づく順位により都道府県別で比較すると、高知県が第 1 位（14,766 円）となっており、愛知県は第 8 位（11,238 円）で全国平均（10,164 円）を上回っています。（図表 4）



（注）「年間の平均支出額」は、各年の「スポーツの実施状況等に関する世論調査」調査結果の都道府県別の年間支出合計金額を、当該都道府県の調査回答者数で除して算出しています。

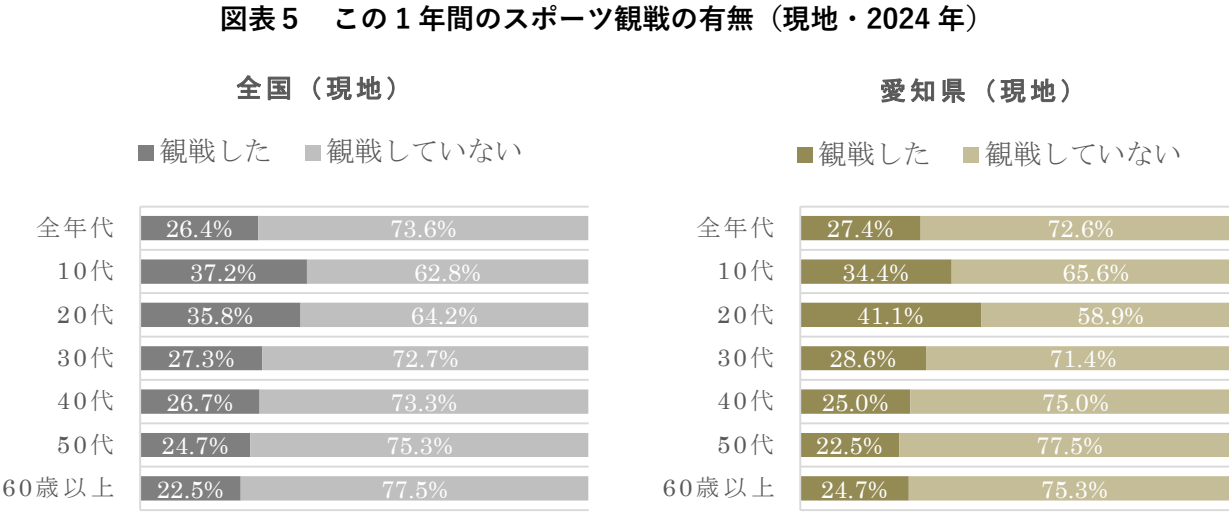
資料：文部科学省スポーツ庁「スポーツの実施状況等に関する世論調査」 2024 年

3 スポーツの観戦方法

これまでは、スポーツ観戦の費用について見てきましたが、ここからはスポーツの観戦方法についてみてみましょう。

観戦方法を「現地での観戦」「テレビ・ネット配信等による観戦」に分け、年代別の条件で観戦率により全国と愛知県を比較してみます。

「現地での観戦」では、愛知県の 10 代、40 代および 50 代が全国平均を下回っているものの、他の年代では愛知県が全国平均を上回っています。また、20 代は愛知県の 41.1%が全国平均の 35.8%を 5.3 ポイント上回っています。（図表 5）

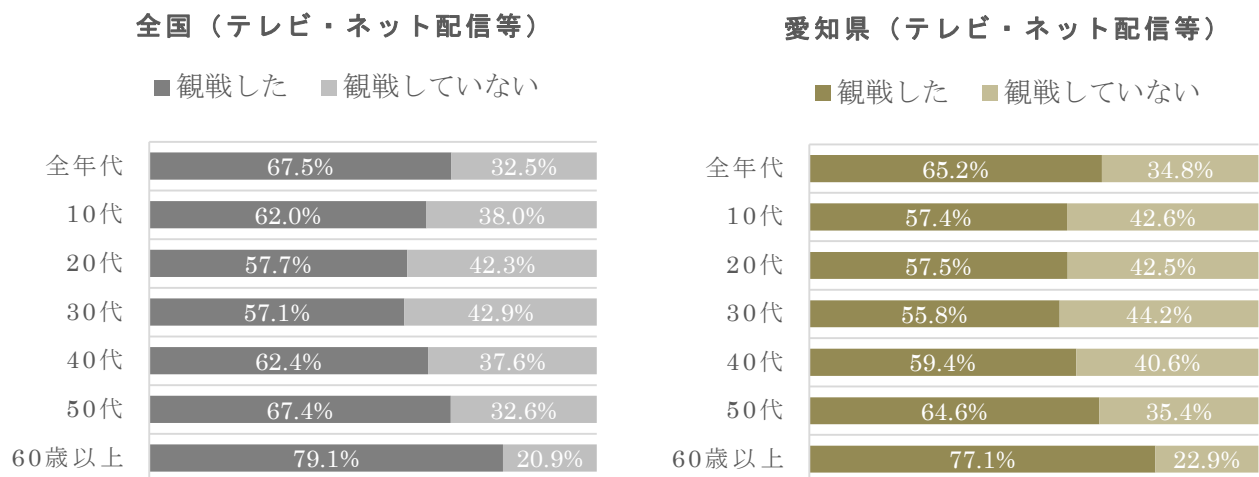


資料：文部科学省スポーツ庁「スポーツの実施状況等に関する世論調査」 2024 年

一方、「テレビ・ネット配信等による観戦」は、競技会場に足を運ばず観戦できるため、どの年代でも「現地での観戦」に比較して観戦率が上回っています。

「テレビ・ネット配信等による観戦」では、全国・愛知県ともに40代以降は年代の上昇につれて観戦率が上昇する傾向が見られます。また、愛知県の観戦率はすべての年代で全国平均を下回っています。（図表6）

図表6 この1年間のスポーツ観戦の有無（テレビ・ネット配信等による観戦・2024年）



資料：文部科学省スポーツ庁「スポーツの実施状況等に関する世論調査」 2024年

4 この1年間に観戦したスポーツ

スポーツの観戦に関して、どのようなスポーツ種目に関心が高いのか、「スポーツの実施状況等に関する世論調査」の内容を詳しくみてみます。

この調査ではスポーツ種目を提示し、「現地での観戦」や「テレビ・ネット配信等による観戦」に分けて、1年間に観戦したものを複数回答により調査しています。（図表7）

図表7 調査対象のスポーツ種目

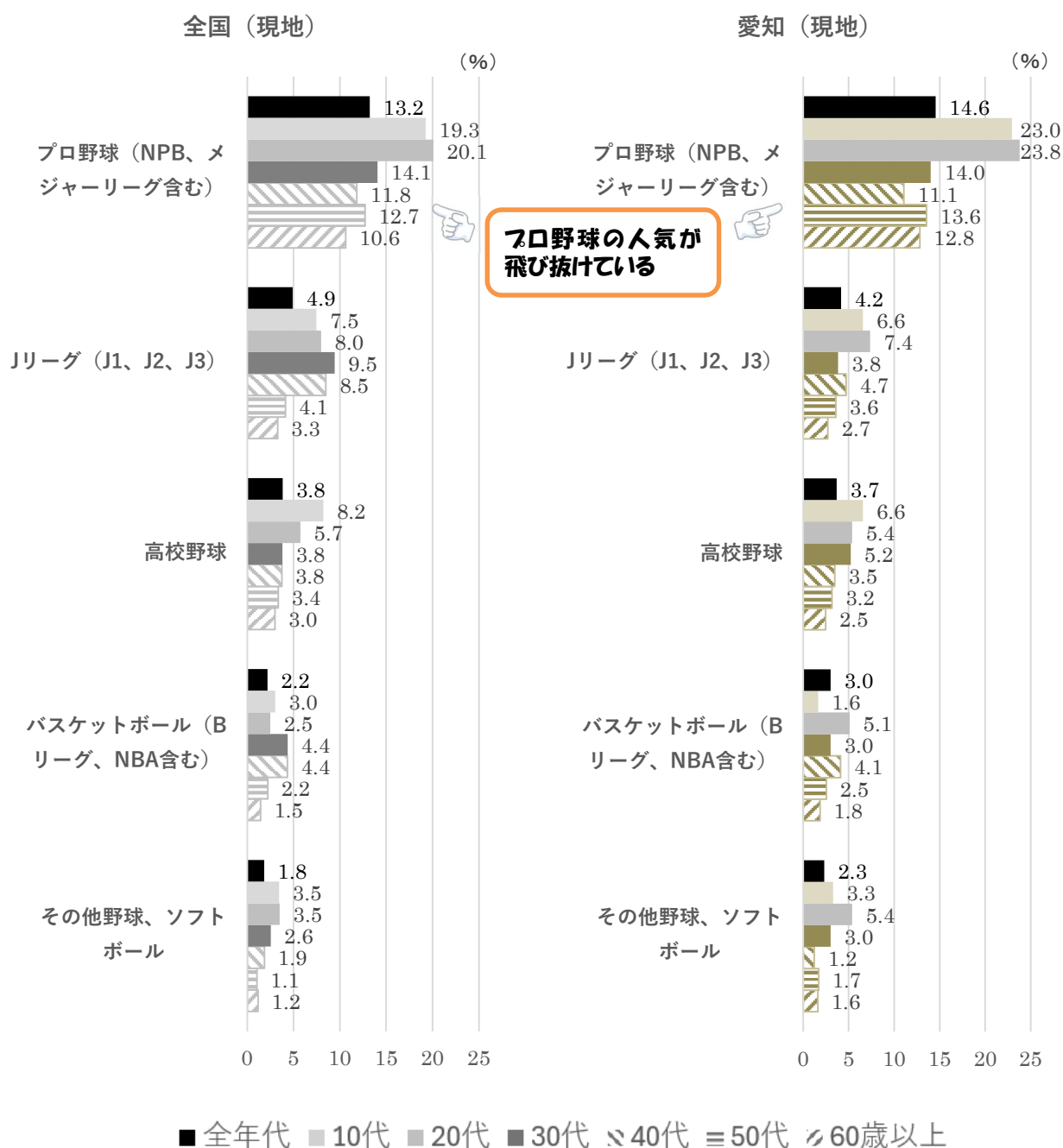
プロ野球（NPB、メジャーリーグ含む）	テニス
高校野球	バドミントン
その他野球、ソフトボール	ゴルフ
サッカー日本代表	体操・新体操
Jリーグ（J1、J2、J3）	水泳
海外サッカー	マラソン、駅伝
その他サッカー	陸上競技
フットサル	武道（剣道・柔道・空手）、ボクシング、レスリング
ラグビー（トップリーグ、大学・高校ラグビー、海外ラグビー含む）	自転車競技（競輪を除く）、スケートボード、インラインスケート等
アメリカンフットボール（NFL等含む）	ヨット、ボート、カヌー、サーフィン等マリンスポーツ（競艇を除く）
バレーボール（Vリーグ、日本代表含む）	スキー（アルペン、フリースタイル、ジャンプ、クロスカントリー他）、スノーボード
バスケットボール（Bリーグ、NBA含む）	フィギュアスケート、スピードスケート、アイスホッケー
大相撲	障害者スポーツ（車いすバスケットボール、車いすテニス等）

(1) 現地での観戦

スポーツ種目別（全年代）でみると、全国・愛知県ともに「プロ野球」「Jリーグ」「高校野球」「バスケットボール」「その他野球、ソフトボール」の順に観戦率が高くなっています。

なかでも、「プロ野球」の人気は飛び抜けており、全年代の観戦率が全国・愛知県ともに10%を超えており、年代別では愛知県の10代・20代は20%を超えています。（図表8）

図表8 この1年間に観戦したスポーツの上位種目（現地・2024年）〔複数回答〕



資料：スポーツ庁「スポーツの実施状況等に関する世論調査」 2024年

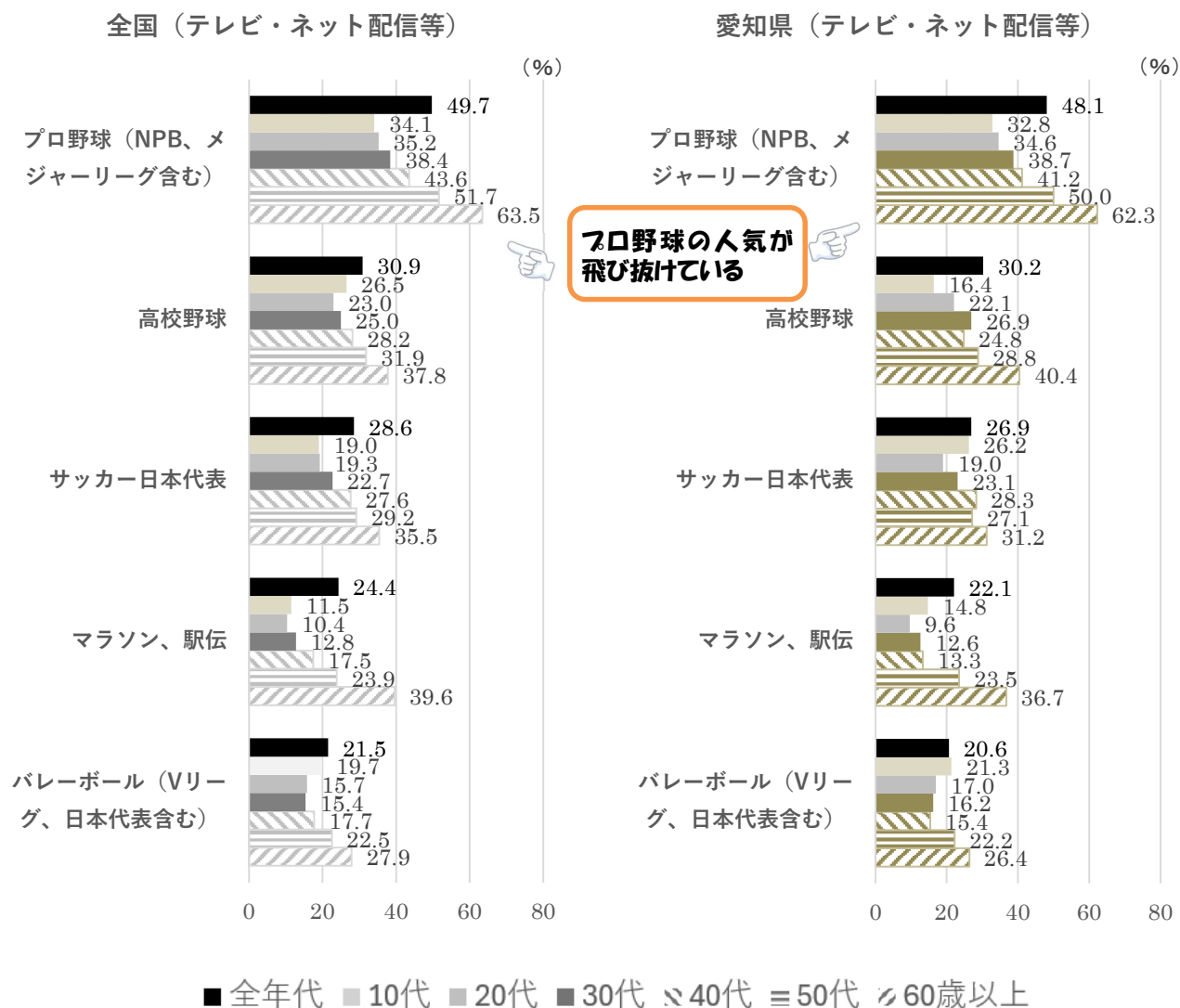
(2) テレビ・ネット配信等による観戦

スポーツ種目別（全年代）でみると、全国・愛知県ともに「プロ野球」「高校野球」「サッカー日本代表」「マラソン、駅伝」「バレーボール」の順に観戦率が高くなっています。

また、上位5種目（全年代）は全国・愛知県ともに20%を超えています。なかでも「プロ野球」の観戦率は、全国・愛知県ともに50%に迫るほどになっています。

年代別にみると、年代が高くなるとともに観戦率が上昇する傾向があります。（図表9）

図表9 この1年間に観戦したスポーツの上位種目（テレビ・ネット配信等・2024年）〔複数回答〕



資料：スポーツ庁「スポーツの実施状況等に関する世論調査」 2024年

おわりに

このように、競技会場に足を運ばず手軽に観戦できる「テレビ・ネット配信等」が多く利用されている一方で、特に人気の高いスポーツでは「現地」に足を運ぶ傾向が見られます。

また、野球やサッカーは、「現地」「テレビ・ネット配信等」とともに人気が高いようです。

みなさんは、どのようにスポーツ観戦を楽しんでおられるでしょうか。